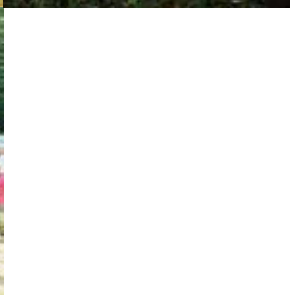


森ライ白書 2014

The Life Style Research Institute of Forests White Paper 2014



index

P2	message	NPO 法人のライフスタイル研究所 代表理事所長・遊撃隊員 竹垣英信
P3	competence	人々が森を想う心が、森を豊かに変える。
P4	policy	正しいことを、楽しく。森づくりをいつまでも継続させたい。
P5	project	2014 年の森づくりプロジェクト
P6		森づくり活動の主なフィールド
P7		長野県佐久市 大沢 ヒノキの経済林づくりプロジェクト 長野県東御市 田之尻 どんぐりの森 里山再生プロジェクト
P8		長野県長和町 和田峠スキー場跡地を森へ還すプロジェクト 長野県木島平村 カヤの平高原牧場 ブナの森づくりプロジェクト
P9		長野県伊那市富県 アカマツの森 里山再生プロジェクト 千葉県山武市蓮沼殿下海岸 3.11 復活の森プロジェクト
P10		長野県佐久市 大沢 薪（たきぎ）の森プロジェクト 東京都檜原村 ツリークライミング体験会プロジェクト
P11	corporate support	伊藤忠建材株式会社 様 株式会社キッツ 様 グローリー株式会社 様
P12		コスモ石油エコカード基金 様 シティグループ 様 積和建設東関東株式会社 様
P13		TOTO バスクリエイト株式会社 様 /TOTO ハイリビング株式会社 様 前田建設工業株式会社 様 モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社 様 / 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 様
P14		企業のための「積み木づくり」プロジェクト
P15	Seminar,session & etc.	都会で “木” を学ぶ「森ライ学会」 キッズプロジェクト 母と子の野外体験プロジェクト
P16		木エワークショップ 環境学習会 2014 年 森ライトピックス
P17	data	数字で見る、森のライフスタイル研究所の 2014 年
P18		森づくり参加者のプロフィール
P19	activities	2015 年の森づくり活動
P21	support us	あなたのご支援が、森をつくる力になります。 会員になる支援と寄付による支援
表 4	special thanks for	

人びとと森をつなぐ。

2014 年も、森のライフスタイル研究所は、すべての活動を大きな怪我なく無事に終えることができました。一般参加の森づくり活動が 17 回。これに企業参加の森づくり活動や母と子の野外体験などを加えると実に 77 回の活動を行い、延べ 2,317 名の皆さまにご参加いただきました。活動を見守ってくれた株式会社ピースフルの救急救命士の皆さまや、陰に日向に支えてくれた NPO 法人 信州そまびとクラブの皆さま、株式会社アーバンフォレストリーの皆さま、木島平村役場の皆さま、東御市田之尻里山整備推進委員会の皆さま他、多くの皆さまに感謝の言葉を述べさせていただきます。

さて、2014 年はいくつかの新しいプロジェクトをスタートさせることができました。その一つが長野県伊那市富県での「アカマツの森 里山再生プロジェクト」です。人の手が入らず荒廃したアカマツ林の堆積した落ち葉を掻きだすことでアカマツを元気にし、将来的にはアカマツと共生するマツタケの発生を促すユニークな森づくり活動です。マツタケ生産による山村地域の経済活性化を夢見ています。

また、金融サービスおよび関連事業を展開する企業で働く有志で運営されている FIT チャリティラン（Financial Industry in Tokyo For Charity Run）のご支援のもとに母子家庭向けの「母と子の野外体験プロジェクト」もスタートさせることができました。森づくりとは一線を描きますが、子どもたちに野外活動を通じて森の美しさや楽しさ、木の温もりを知ってもらうことは、将来に向けて大きな財産になると思っています。

さらに、企業向けの「積み木づくりプロジェクト」では、昼休みやアフターファイブの時間を利用して、未完成品の積み木の仕上げ作業を行っていただき、完成した積み木を主に東日本大震災被災地の幼稚園や保育園に寄贈しています。たくさんの人たちの温かい気持ちに励まされ、森のライフスタイル研究所も少し成長できたかなと自負しています。

団体設立 12 年目を迎える 2015 年も「正しいことを楽しく」をモットーに活動を続けていきます。私たちの使命は、都会で暮らす人々と森をつなぐゲートウェイになることです。「木をまなぶ」「木にふれる」そして「木をつかう」ことを通じて、森を愛し、木を愛する人を一人でも増やすことが、日本の森を守り、育てることにつながると信じています。この森ライ白書 2014 年が、私たちの活動をご理解いただく資料として、各企業の皆さまが環境活動や CSR 活動をお考えになるときのヒントとなる資料としてご活用いただければ幸いです。

私たちが活動を続けていくためには、一般参加の皆さま、各企業、各機関の皆さまの温かいご支援が欠かせません。今後も森のライフスタイル研究所へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

NPO 法人 森のライフスタイル研究所
代表理事所長 兼 遊撃隊員 竹垣英信



人々が森を想う心が、森を豊かに変える。

平成 25 年度の「森林・林業白書」（林野庁）によると日本の森林率は 68.5%で、OECD^{※1} 諸国ではフィンランドの 72.9%、スウェーデンの 68.7%に次いで 3 番目となっています。

森林のうち約 6 割が天然林、残りの約 4 割が人工林です。

そして、森林資源を示す森林蓄積量は半世紀の間に 2.6 倍、

人工林だけでみると実に 5.4 倍にもなっていて、

近年では年平均で約 1 億立方メートルも増加しています。

これだけ森が多い国なのに、

一方で森林の荒廃や林業の不振、山村地域の衰退が叫ばれ続けられ

木材の自給率は 3 割弱^{※2}に留まっています。

これは何故でしょう？

森はあるけれど、手入れされず、利用されずに放置されているのが現状です。

その原因は一言で言うことはできませんが、

人々の森や林業に対する関心のなさも大きく影響しているのではないのでしょうか。

関心がないというよりも、接点がなく関心を持つきっかけすらない

と言った方がいいかもしれません。

森のライフスタイル研究所は、都会で暮らす人たちと森との窓口になりたいと考えています。

「木をまなぶ」、「木にふれる」ことを通じて森や林業への興味を喚起し、

「木をつかう」ことで日本の「森」を活性化させていきたいと考えています。

※1：OECD とは「Organisation for Economic Co-operation and Development：経済協力開発機構」の略でヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め 34 ヶ国の先進国が加盟する国際機関です。

※2：日本の木材自給率＝27.9%（平成 25 年度 森林・林業白書より）



policy

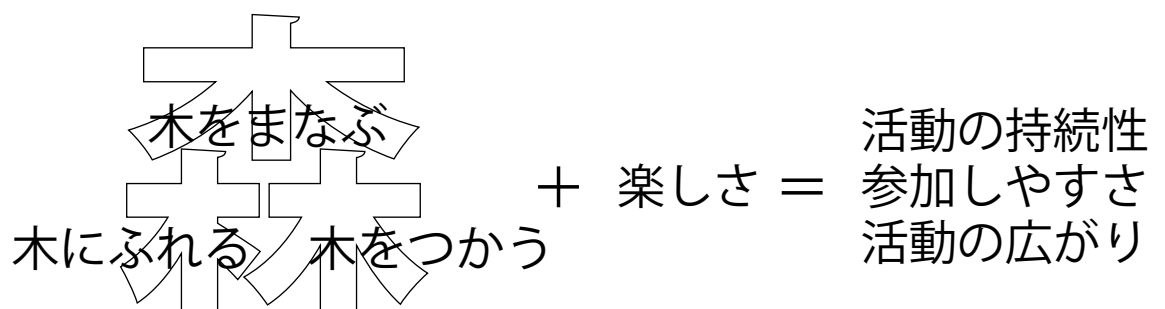
正しいことを、楽しく。森づくりをいつまでも継続させたい。

この3つのポリシーを持続させていくために、森のライフスタイル研究所では「楽しさ」というファクターを活動の重要なキーに定めています。どんなに意義のある正しいことでも、その活動が苦しく辛いものでは長続きしません。そこで、3つのポリシーに“楽しさ”をプラス。正しいことをしながら、楽しいことも見つけていくことで持続性のある森づくり活動を行います。

■森のライフスタイル研究所の3つのポリシー



■森のライフスタイル研究所の持続性のある森づくり活動



今までの一般の人たちと企業の森づくりに加え、 母と子の野外体験プロジェクトや積み木づくりプロジェクトを開始。

2014 年の森のライフスタイル研究所は、長野県にや千葉県での森づくり活動に加え、新たに都会で暮らす母子世帯向けの野外体験プロジェクトや企業向けの昼休みやアフターファイブの時間を利用して積み木の仕上げ作業を行い、出来上がった積み木を震災被災地の保育園、幼稚園などに寄贈する積み木づくりプロジェクトに取り組んでいます。

また、森ライ学会と名付けた学習会も都内で開催。木をまなぶ、木にふれる、木をつかうという3つの森ライポリシーにのっとった活動を幅広く展開しました。

■2014 年の森づくりプロジェクト

木にふれる 木をまなぶ

●一般の人たちの森づくりプロジェクト

- ・長野県佐久市大沢 ヒノキの経済林づくり
- ・長野県東御市田之尻 どんぐりの森 里山再生
- ・長野県長和町 和田峠スキー場跡地を森へ還す
- ・長野県木島平村 カヤの平高原ブナの森づくり
- ・長野県伊那市富県 アカマツの森 里山再生
- ・長野県佐久市大沢 薪（たきぎ）の森づくり
- ・千葉県山武市蓮沼 3.11 復活の森 III

木にふれる 木をまなぶ

●企業の森づくりプロジェクト

- ・シティグループ
山梨県道志村 大豆収穫
- ・モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社 /
三菱 UFJ モルガンスタンレー証券 他
- ・千葉県山武市蓮沼 植林、下草刈り
- ・株式会社キッツ
千葉県山武市蓮沼 下草刈り
- ・TOTO バスクリエイト /TOTO ハイリビング
千葉県山武市蓮沼 植林、下草刈り
- ・積和建設東関東
千葉県山武市蓮沼 下草刈り
- ・前田建設工業
長野県佐久市大沢 MAEDA の森 佐久 地拵え
- ・コスモ石油エコカード基金
長野県伊那市 アカマツ林整備
- ・グローリー株式会社
長野県長和町 植林 / 長野県佐久市大沢 地拵え
- ・伊藤忠建材
長野県木島平村 地球樹の森 ブナ移植

木にふれる 木をつかう

●その他のプロジェクト

- ・木工ワークショップ（檜原都民の森）
- ・ツリークライミング体験会（檜原村）
- ・環境学習会（港区立エコプラザ）

木にふれる 木をまなぶ 木をつかう

●キッズプロジェクト

- ・檜原村ツリークライミング体験会
- ・色づくりワークショップ
- ・ニッセづくりワークショップ
- ・珪藻土ダンゴづくりワークショップ
- ・子ども樹木医（長野県御代田町）

木にふれる 木をまなぶ

●母と子の野外体験プロジェクト

- ・千葉県山武市蓮沼
下草刈りと BBQ、スイカ割り
- ・山梨県道志村
竹林整備と釣り体験
- ・山梨県富士河口湖町
ほうとうづくりと森林トレッキング、コウモリ穴探検
- ・東京都あきる野市
生活クラブひだまりファーム ワンデイキャンプ
- ・東京都あきる野市
地球農園テラファーム 農業体験
- ・山梨県道志村
うどんとピザづくり 竹のおもちゃづくり
- ・埼玉県鶴ヶ島市 落ち葉かきと焼き芋づくり

木をつかう 木をまなぶ

●積み木プロジェクト

- ・10 企業が参加し 18 回開催、9,100 枚の積み木を仕上げ、震災被災地などの保育園、幼稚園に寄贈しました。

木をまなぶ

●森ライ学会（学習会）

- ・2014 年キックオフミーティング（フロマエカフェ）
- ・ブナ学会（毎日メディアカフェ）
- ・海岸林学会（毎日メディアカフェ）
- ・アカマツ林学会（毎日メディアカフェ）

■森づくり活動の主なフィールド



project

長野県佐久市 大沢 ヒノキの経済林づくりプロジェクト

長野県佐久市 大沢財産区 約 3ha

2010 年 10 月～

4 月 26 日 (土) 植林

7 月 26 日 (土) 下草刈り

バブル期にレジャー施設開発計画の予定地となっていた森です。バブル崩壊後、計画は白紙に戻りましたが、そのまま森の手入れを怠っていたため荒廃した人工林となっていました。林道がすぐ脇を通り、経済林としての立地条件がよく、財産区の人たちの要望もあることから、ヒノキを再植林して将来、建築用材を算出できる経済林として育てていきます。すでに 2011 年 (1,500 本)、2012 年 (2,400 本)、2013 年 (1,600 本)、2014 年 (1,650 本) の 4 回にわたり合計 7,150 本のヒノキの苗を植え終わりました。今後は夏期に下草刈りを行い、健全な森へと育てていきます。

協力：NPO 法人 信州そまびとクラブ

国土緑化推進機構「緑の募金」、長野県「地域発元気づくり支援金」のご支援により実施しています。



長野県東御市 田之尻 どんぐりの森 里山再生プロジェクト

長野県東御市 田之尻地区 約 4ha

2011 年 5 月～

8 月 31 日 (日) 下草刈り (ツル外し)

2010 年 5 月に山火事によって焼失した約 4ha の森にコナラ、クヌギ、モミジ、ヤマザクラなどを植えて地域の子どもたちや大人が憩える森をつくるプロジェクトです。2011 年 5 月よりプロジェクトを開始し、2013 年までに約 12,000 本のコナラ、ヤマザクラなどの苗木を植え、約 4ha の焼失林への植林を完了しています。日当たりのいい斜面なため、クズなどのツル性の植物が苗にからみつくように繁茂しています。そこで 2014 年は、苗に巻き付いたツルを外す作業を行いました。また、このプロジェクトでは信州大学の協力を得て、生物多様性に関する調査も続けています。今までの調査によると、植林を始めてから多様な昆虫類の生息が確認され、国蝶であるオオムラサキや希少種の蝶やトンボなども確認されています。

コスモ石油エコカード基金のご支援により実施しています。



project

長野県長和町 和田峠スキー場跡地を森へ還すプロジェクト

長野県長和町 和田峠スキー場跡地 約 7.4ha
2011 年 6 月～ 2014 年 5 月（終了）
5 月 31 日（土） 植林

かつて中仙道最大の難所といわれた標高 1,400m 超の和田峠。長和町は国有林を借り受けてここにスキー場を建設していましたがスキー人口の減少や雪不足によりこれを閉鎖。ゲレンデ跡にカラマツ等を植林して、国に返還することとしました。森ライは、2011 年より長和町と協力して植林活動を行い、2011 年（カラマツ 2,300 本）、2012 年（カラマツ 4,000 本）、2014 年（ミズナラ 3,000 本、カラマツ 1,000 本）、合計 10,300 本の苗を植え、全エリアへの植林を完了しました。標高が高いため、雑草等の繁茂が少なく、苗を鹿の食害から守るためにも下草刈りは行わないことにしました。今後は町と協力して国への返還を進めていきます。

イオン環境財団、国土緑化推進機構「緑の募金」、日野自動車グリーンファンドのご支援により実施しています。



長野県木島平村 カヤの平高原牧場 ブナの森づくりプロジェクト

長野県木島平村 カヤの平高原牧場
未利用牧草地 約 15.2ha
2013 年 6 月～
6 月 28 日（土） 29 日（日） ブナ移植
9 月 6 日（土） 7 日（日） ブナ移植
10 月 18 日（土） 19 日（日） ブナ移植

カヤの平高原牧場は、昭和 31 年に木島平村が国有林 52.8ha を借り受けて開墾し夏の間の放牧地として利用していました。しかし近年の牛乳消費量の減少や飼育方法の変化により未利用の牧草地が増えたため一部を国に返還することにしました。返還に際しては元の森に戻す必要があります。森ライでは長野県林務部と協力し、林縁部の実生のブナ苗を掘り採り、それをベルト状に表土を剥ぎ取った未利用牧草地に移植するというユニークな方法でブナの森づくりを進めています。初年度に植えたブナの苗の 90% 近くが厳しい冬を越し、活着しています。

環境再生保全機構「地球環境基金」、東京ガス環境おうえん基金、三機工業「SANKI YOU エコ貢献ポイント」のご支援により実施しています。



project

長野県伊那市 富県 アカマツの森 里山再生プロジェクト

長野県伊那市富県 アカマツ林 約 12ha

2014 年 5 月～

5 月 10 日（土）11 日（日） 柴かき

10 月 4 日（土）5 日（日） 柴かき・菌根菌調査

11 月 8 日（土）9 日（日） 柴かき・除伐

アカマツなどのマツ類は、林内に落ち葉などが堆積し土壌が富栄養になると育ちが悪くなります。かつては焚きつけや堆肥に利用するため人びとが森に入り落ち葉かき（柴かき）をしていましたが、今では誰も行わなくなりアカマツ林が衰退しています。そこでボランティアの手によって柴かきを行い、アカマツ林の元気を取り戻します。そうすることによって秋にはマツタケの発生も期待でき、山村地域の経済活性化にもつながります。

株式会社アーバンフォレストリー（駒ヶ根市）との協働活動です。

「コスモ石油エコカード基金」、「2013 年度ドコモ市民活動団体への助成金」のご支援により実施しています。



千葉県山武市蓮沼殿下海岸 3.11 復活の森プロジェクト III

千葉県山武市蓮沼 殿下海岸

約 1.4ha+0.4ha+0.5ha

2011 年 8 月～

3 月 15 日（土） 目印棒設置

4 月 12 日（土） 植林

7 月 6 日（日） 下草刈り

8 月 24 日（日） 下草刈り

10 月 26 日（日） 伐採・地拵え

2011 年 8 月から九十九里浜の津波被害林の復興活動を続けています。すでに約 1.4ha の海岸林へ植林を終え、2014 年 4 月には植栽地の後方（内陸側）約 0.4ha に植林を実施。2015 年春にも植林を行い海岸林の林帯幅を拡大して行きます。初年度に植えたクロマツは、大きなもので大人の肩の高さまで生長しています。また、夏期には下草刈りを行い、海岸林の生育を見守っていきます。

国土緑化推進機構「緑の募金」、千葉県環境財団「豊かで美しい ちばの自然環境保全活動支援」、TOTO 水環境基金、日本郵便「年賀寄附金配分事業」、公益財団法人 JKA「RING! RING! プロジェクト」のご支援により実施しています。



project

長野県佐久市大沢 薪の森づくりプロジェクト

長野県佐久市 大沢財産区

2014 年 11 月～

11 月 15 日（土） 伐採・地拵え

12 月 6 日（土） 伐採・地拵え

2014 年 11 月からスタートした新しいプロジェクトです。大沢財産区の状態が良くないヒノキ、カラマツの人工林を整理し、コナラを植林し樹種転換を行い、将来、薪がとれる森に育てていくプロジェクトです。初年度の 2014 年は灌木類を手ノコで伐って地拵えを行いました。冬の間に材として出荷できる太さのヒノキ、カラマツを業者が伐採し、2015 年の 4 月にコナラを植林する予定です。植林後、15～20 年ほどで薪材を生産できるようになり、地域の人たちの薪ストーブの燃料として使っていく予定です。自然エネルギーの地産地消を目指したプロジェクトです。

協力：NPO 法人 信州そまびとクラブ

長野県「地域発元気づくり支援金」、国土緑化推進機構「緑の募金」のご支援により実施しています。



東京都檜原村 ツリークライミング体験会プロジェクト

東京都檜原村

2012 年 5 月～

5 月 4 日（土）

11 月 22 日（土）

2014 年は、台風の影響などにより予定していた 4 回の体験会のうち 2 回がキャンセルになりました。ロープを使って木に登るツリークライミングは、森を身近に感じることができる楽しい森林レクリエーションです。また毎回、体験会の後にはプチ林業体験と称して薪割りや地拵えの作業を行っています。2014 年は参加者の中から 2 名が TCJ（Tree Climbing Japan）のベーシックツリークライマーのライセンスを取得しました。また、一般参加の体験会とは別に子ども向けの体験会も開催することができました。

株式会社 東京チェーンソーズ（檜原村）との共同企画です。



corporate support

伊藤忠建材株式会社 様

9月23日（祝）24日（水） 長野県木島平村 カヤの平高原牧場 ちきゅうぎ 地球樹の森

建材専門商社の伊藤忠建材株式会社は、木島平村と森林の里親協定を締結し、2haの未利用放牧地を「地球樹（ちきゅうぎ）の森」と名付けブナ苗の移植により牧草地をブナの森へ還す活動を行っています。2年目の2014年も社員15名が森づくりに励みました。



株式会社キッツ 様

8月23日（土） 千葉県山武市蓮沼殿下海岸 伐採・地拵え、下草刈り

千葉市に本社がある（株）キッツも2012年の秋の枯損木の伐採・地拵え以来、蓮沼殿下海岸の海岸林復興活動に常にご参加いただいています。今回も社会貢献活動の一貫として23名の社員とご家族が、炎天下での下草刈りを行いました。



グローリー株式会社 様

5月31日（土） 長野県長和町 和田峠スキー場跡地 植林

11月15日（土） 長野県佐久市 大沢 伐採・地拵え

金融機関向けの通貨処理機や情報処理機などの開発製造、販売を行っているグローリー株式会社は2回にわたって社員ボランティアが森林整備作業を行いました。



corporate support

コスモ石油エコカード基金 様

10月4日（土）5日（日） 長野県伊那市富県 アカマツ林整備、菌根菌調査

コスモ石油エコカード会員様とコスモ石油株式会社のボランティア社員合わせて24名が参加し、長野県松茸山管理士の指導の下に専用の熊手を使って柴かきを行い、アカマツ林を元気にするための森林整備を行いました。また、林内に生えているキノコの調査し観察しました。



シティグループ 様

11月15日（土） 山梨県道志村 大豆収穫（農業支援活動）

世界的な金融グループであるシティグループの日本における各社が行う秋の社会貢献活動のサポートをしました。道志村地域おこし協力隊の協力を得て、高齢化過疎化が進む山村で大豆の収穫をお手伝いしました。収穫した大豆は、味噌づくりなどに利用され、地域の特産品としてたくさんの方に味わってもらうことができます。 協力：道志村地域おこし協力隊



積和建設東関東株式会社 様

7月16日（水） 千葉県山武市蓮沼殿下海岸 下草刈り

積水ハウスグループの施工会社で、千葉県八千代市に事業所がある積和建設東関東株式会社エクステリア事業部の有志8名が下草刈りを行いました。



corporate support

TOTO バスクリエイト株式会社 様 / TOTO ハイリビング株式会社 様 4月12日（土）、7月6日（日）、10月26日（日）千葉県山武市蓮沼殿下海岸

千葉県佐倉市に本社がある TOTO バスクリエイト、千葉県茂原市に本社がある TOTO ハイリビングの両社は、蓮沼殿下海岸での下草刈りボランティアの常連です。7月6日には千葉県の震災復興に役立ちたいと25名の社員とご家族が下草刈りを行ってくれました。また、4月12日は植林、10月26日は伐採・地拵えと1年を通じて活動にご参加いただいています。



森ライ一般参加の森づくりと合同開催です。

前田建設工業株式会社 様

11月16日（日） 長野県佐久市大沢 MAEDA の森 佐久 伐採・地拵え

「環境経営 NO.1」をめざす総合建設会社の前田建設は、佐久市大沢財産区と森林の里親契約を結び、「MAEDA の森 佐久」と名付けています。今回は、社員とご家族50名が、恒例となっている秋のボランティア活動に汗を流しました。この森では、2014年春にすべての植林を終えており、今回は植栽地に残った立木をロープで引きながら、安全な方向へと伐り倒す作業を行いました。



モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社 様 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 様

4月12日（土）、7月5日（土） 千葉県山武市蓮沼殿下海岸 植林、下草刈り

ジョイント・ベンチャー二社の共同ボランティア活動として、蓮沼殿下海岸の津波被害林植栽地の下草刈りに34名の社員とご家族にご参加いただきました。真夏の強い陽射しの中、下草刈りに汗を流し、雑草の繁茂からクロマツなどの苗木を救い出しました。両社は、4月の植林活動（森ライ一般参加の森づくりと合同）にもご参加いただいています。



corporate support

お昼休みやアフターファイブを利用して社会貢献 企業のための「積み木づくり」プロジェクト

「積み木づくり」プロジェクトは、お昼休みの時間やアフターファイブを利用して職場の仲間と気軽に楽しく社会貢献活動ができるプログラムです。会議室などをご用意いただき、有志の方にお集まりいただき、半完成品の積み木をサンドペーパーで仕上げていただきます。仕上げた積み木は200枚ずつ木箱に入れて、東日本大震災の被災地の保育園や幼稚園などに寄贈されます。木箱には企業名やブランド名を焼き印加工でお入れします。木に親しみ、木で遊ぶことで子どもたちの自然を愛する心を育てていくプロジェクトです。

作業に必要な備品類（サンドペーパー、エプロンなど）は、すべて森のライフスタイル研究所がご用意いたします。会議室など作業ができる机と椅子があるスペースを確保していただくだけでOKです。また、作業の前には木づかいに関する簡単な森林学習を行い、参加していただく社員の意識を高めていきます。後日、寄贈先の子供たちから企業宛に感謝のお手紙が届きます。



2014年に「積み木づくり」プロジェクトにご参加いただいた企業

- アクセンチュア株式会社
- MSD 株式会社
- JX 日鉱日石エネルギー株式会社
- 株式会社ジェーシービー
- シティグループ
- 新日鉄住金エンジニアリング株式会社
- 日本メドトロニック株式会社
- プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社
- UBS グループ（UBS 証券株式会社、UBS 銀行東京支店、UBS グローバル・アセット・マネジメント株式会社）
- 他1社

あいうえお順

都会で“木”を学ぶ「森ライ学会」

2014年から森ライ学習と称して気軽な学習会を開催。森づくり活動のフィールドとなっている森林のことを、もっとよく知ろうと各分野の専門家に講師になっていただき学びます。ウィークデイの夜の開催なので、週末の活動に来ることができない人も会社帰りに気軽に立ち寄っていただけるように配慮しました。

6月16日(月)「**ブナ学会**」

小山泰弘氏…農学博士、長野県庁林務部

7月22日(火)「**海岸林学会**」

吉武孝氏…農学博士、元(独)森林総合研究

9月16日(火)「**アカマツ林学会**」

吉見次郎氏…アーバンフォレストリー代表、樹木医

協力：毎日メディアカフェ



キッズプロジェクト

子どもたちにもっと自然に触れてもらおう、自然を学んでもらおう、そして木や森林に興味をもってもらおうとの願いから始めたプロジェクトです。港区や企業の協力を得て子どもたちのための楽しいイベントを開催しました。

●5月18日(日) 珪藻土団子づくり 港区立エコプラザ

講師：山本太郎 (株) ウェル代表

●8月5日(火) 自然の色づくりワークショップ 港区立エコプラザ

講師：サダヒロ カズノリ (イラストレーター、グラフィックデザイナー、アーティスト)

●8月8日(日)

夏休み、ツリークライミングと森林体験 檜原都民の森

協力：株式会社 東京チェンソーズ

●8月19日(火)

オルゴールづくりワークショップ 港区立エコプラザ

●12月22日(月) ニッセづくりワークショップ 栄光キッズカレッジ南柏校

講師：山下味希恵 (造形作家)

母と子の野外体験プロジェクト

シングルマザーだと子どもを野外に連れて行って遊ばせることができないという悩みがあるそうです。このプロジェクトは、そうしたお母さんの声にお応えしたワンデイのアウトドア体験プログラムです。子どもたちは、経験豊かなインストラクターと一緒にのびのびと自然環境の中で遊んで学び、お母さんたちはゆっくりと世間話でもしてもらおうという企画です。

●8月30日(土) 下草刈りとBBQ、スイカ割り (千葉県山武市蓮沼殿下海岸)

●10月12日(日) 竹林整備と釣り体験 (山梨県道志村)

●11月2日(日) ほうとうづくりと森林トレッキング、コウモリ穴探検 (山梨県富士河口湖町)

●11月16日(日) 農業体験 地球農園テラファーム (東京都あきる野市)

●11月29日(土) うどんとピザづくり、竹のおもちゃづくり (山梨県道志村)

●12月2日(日) ワンデイキャンプ 生活クラブひだまりファーム (東京都あきる野市)

●12月7日(日) ワンデイキャンプ 生活クラブひだまりファーム (東京都あきる野市)

●12月14日(日) 落ち葉かきと焼き芋づくり (埼玉県鶴ヶ島市)

seminar, session & etc.

木の椅子を作ろう！ 都民の森で木工ワークショップ

檜原都民の森の木材工芸センターの協力を得て1月に実施しました。男性5名（一人は男児）、女性6名が参加。ヒノキ材のいい香りに包まれながら、慣れない鉋を使って面取りをしてカントリチェアを作成しました。帰りには村営の数馬の湯を訪れ、最新式の薪ボイラーを見学。さまざまな“木づかい”に肌で触れることができた一日でした。



港区民のための環境学習会を開催

港区立エコプラザで区民のための環境学習会を開催。慶応大学名誉教授 NPO 法人鶴見川流域ネットワーク代表理事の岸 由二さんを講師に迎えての環境・文化講座「地球環境危機を流域地図で考える」や自転車ツーキニスト足田 智さんを講師に「自転車のススメ」など多彩なプログラムを展開しました。



岸 由二さんの講演

2014 年 森ライトピックス

森ライカップル第2号誕生

森ライの森づくりに参加して知り合ったことがご縁で昨年秋にFさんとNさんがご結婚しました。森ライで出逢ってゴールインされたカップルは、これで2組目です。特別なことは何もしていませんが、とてもうれしく思います。いつまでもお幸せに！



森ライ有志による草刈リレンジャー初出動！

植林をすればするだけ夏の下草刈りが必要な面積が増えていきます。すでに約1.8haに植林を終えた千葉県蓮沼殿下海岸では、下草刈りが大仕事。一般参加や企業参加の作業で刈り残してしまったエリアを森ライ有志による草刈リレンジャーが急遽結成され、休日出勤をして刈り終わりました。草刈リレンジャーの皆さん、ありがとうございます。2015年もよろしくお願いいたします。



国内最大級の環境展示会エコプロダクツ2014に出展

毎年12月に東京ビッグサイトで開催されている環境系の展示会としては国内最大級のエコプロダクツ展に今年もブースを出展しました。ブースでは主に企業様向けの森づくりプランを展示し、森づくりへの支援と参加を呼びかけました。



数字で見る、森のライフスタイル研究所の 2014 年

2,317人 ————— 延べ参加人数

2014 年の森づくりやセミナー、体験会などすべてのイベントの参加者延べ人数（スタッフは除く）です。2013 年は 1,584 人でしたので約 1.5 倍となりました。これは、キッズプロジェクト、母と子の野外体験プロジェクト、企業向けの積み木づくりプロジェクトなど新規プロジェクトが増えたことが大きな理由です。

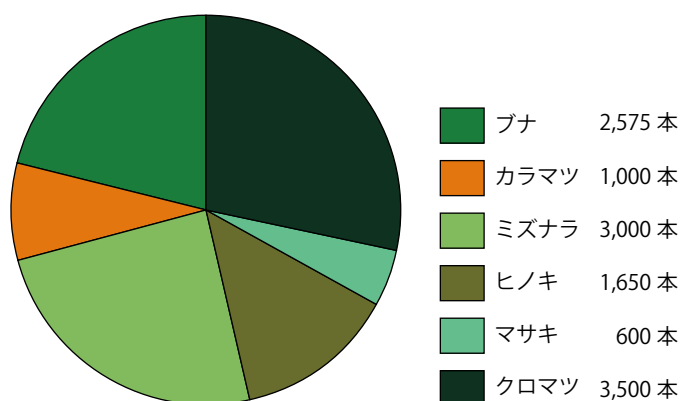
77回 ————— 開催イベント回数

2014 年に実施した森づくりなどイベントの総回数です。計画では 81 回でしたが、台風の影響などにより 4 回が中止となりました。森づくりとしては、一般参加のイベントが 20 回（ツリークライミング体験会などを含む）、企業の森づくり関係のイベントが 10 回です。

12,325本 ————— 植林本数

2014 年は、蓮沼殿下海岸（クロマツ、マサキ）、佐久大沢の森（ヒノキ）、和田峠スキー場跡地（ミズナラ、カラマツ）、カヤの平高原牧場未利用牧草地（ブナの実生苗）の 4 カ所に計 6 回の植林を行いました。

■樹種別の植林本数比較



17回 ————— 一般参加の森づくりツアー回数

2014 年に実施された一般参加の森づくりツアーの回数です。千葉県山武市蓮沼殿下海岸、長野県佐久市大沢、長野県東御市田之尻、長野県伊那市富県、長野県長和町和田峠スキー場跡地、長野県木島平村カヤの平高原牧場など 2 県 6 カ所のフィールドで森づくりを行いました。



636人 ————— 一般参加の森づくり延べ参加人数

2014 年に 20 回実施された森づくりに関するイベントの延べ参加者数です。ツリークライミング体験会、木工ワークショップ参加者も含んだ数字です。

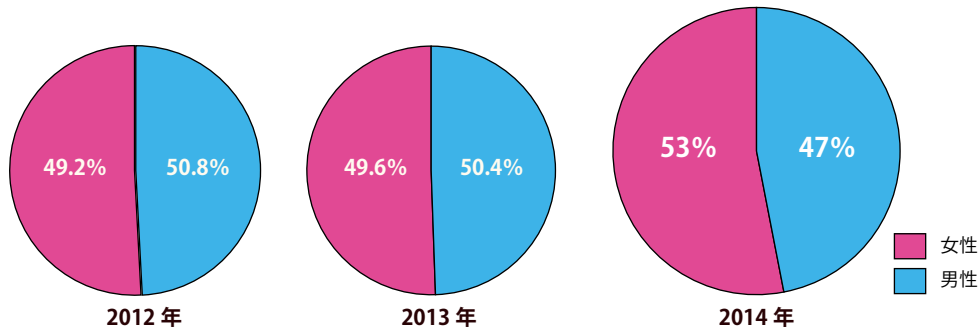
data

森づくり参加者のプロフィール

2014年に17回実施された森づくりツアー参加者に対して行ったアンケートの集計結果です。

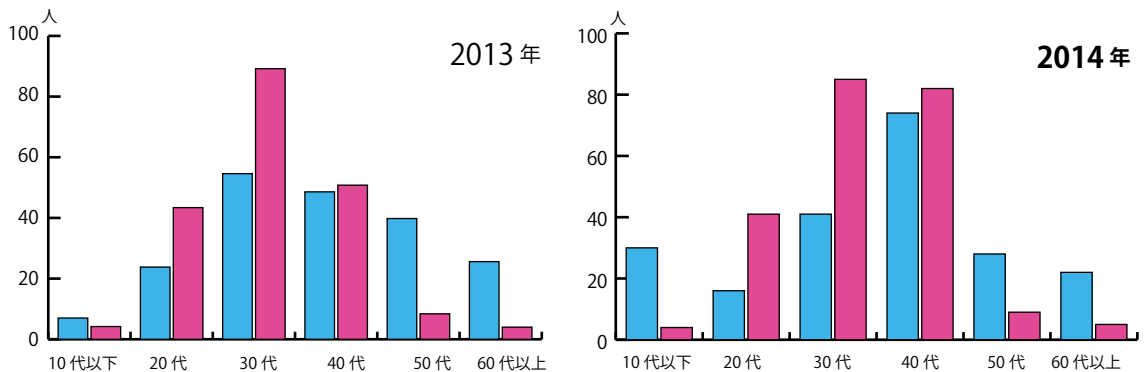
■森づくり参加者の男女比

一般参加者（企業からの参加者を除く）のみを集計したものです。2012年、2013年に比べて女性比率が若干増えています。しかし、企業からの参加者を加算すると男性56.6%、女性43.4%となり、男性の比率が上回ります。



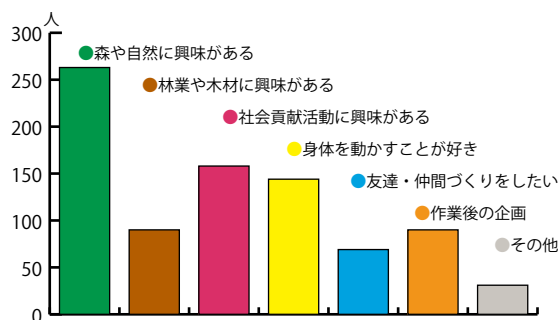
■森づくり参加者の年齢構成

男性は40代が中心。息子さんを連れて参加する方が多く、10代以下の比率が高くなっています。女性は30代がもっとも多く、次が40代となっています。2013年と比較すると男女とも40代の参加者が増えているのがわかります。



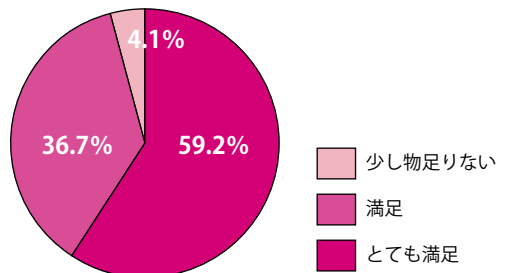
■森づくりツアーへの参加理由

森づくりツアーへの参加理由は、ほぼ2013年と同じ傾向です。いちばんの理由は森や自然が好きだから。次に社会貢献活動への興味、身体を動かすことが好きなどが続きます。



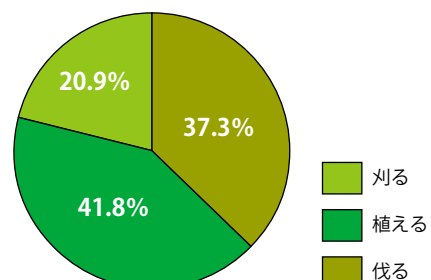
■森づくりツアーの満足度

活動の満足度をみると約6割の方が「とても満足」とお答えいただきました。2013年と比べると約1%スコアを下げています。「満足」は、約2%スコアを伸ばしました。これからも皆さんに満足していただけるよう努力します。



■森づくりで好きな作業は？

2014年のいちばん好きな作業は木を「植えること」。昨年は「伐る」がいちばん人気作業でしたが、逆転しました。



activities

2015 年も継続して森づくり活動を行っていきます。

2015 年の森づくり活動フィールドは、長野県と千葉県の合計 5 カ所のフィールドで 6 つのプロジェクトを展開します。2010 年にスタートした佐久市大沢でのヒノキの経済林づくりプロジェクトから数えて今年で 5 年目。地拵え・植林を終え、下草刈りの作業が必要なフィールドが増えています。夏の下草刈りをいかに効率的にこなしていく人員確保が課題です。また、2012 年より檜原村で林業を営む（株）東京チェーンソーズと共同企画のツリークライミング体験会も気軽に森と触れ合い、森を知ることができるイベントとして継続して行っています。

そして、2014 年より開始した「母と子の野外体験プロジェクト」も引き続き取り組んでいきます。団体の活動目的である、「木にふれる」「木をまなぶ」「木をつかう」ことを実践し、人と森の窓口となる団体として、多くの人に森や林業、木材との接点を作っていきたいと考えています。さらに、森づくりへの関心が高い常連参加者を中心に、スキルアップができるような活動も取り入れていきたいと考えています。

長野県佐久市大沢 ヒノキの経済林づくりプロジェクト

施業面積：3ha

活動内容：下草刈り

活動予定日：7 月 25 日（土）

2014 年春で全エリアへの植林を完了しました。シカの被害もほとんどなく、植えたヒノキ苗は順調に生育しています。今後数年間は下草刈りを行い、生育を見守っていきます。



長野県東御市田之尻 どんぐりの森 里山再生プロジェクト

施業面積：4ha

活動内容：下草刈り（ツル切り）

活動予定日：9 月 5 日（土）

山火事で焼失した森にコナラやクヌギ、モミジ、ヤマザクラなどの広葉樹を植え、市民が憩える森をつくる活動です。2013 年に植林を終え、下草刈りを行っています。日当たりのいい斜面のため、ツル性の植物の繁茂が激しく、苗からツルを外す作業を夏に行います。



長野県木島平村カヤの平高原牧場 ブナの森づくりプロジェクト

施業面積：15.2ha（全返却予定地）

活動内容：ブナ苗の掘り採り・移植

活動予定日：6 月、9 月、10 月

2014 年に引き続き、牧場の林縁部から掘り採った実生のブナの稚樹を未利用牧草地へ移植します。2013 年に移植した苗は約 9 割が冬を越し活着しています。全エリアへの移植を終えるにはまだ長い年月がかかりますが、300 年後に世界自然遺産に指定されることを夢見て活動が続けていきます。



activities

長野県伊那市富県 アカマツの森 里山再生プロジェクト

施業面積：12ha

活動内容：柴かき、除伐、菌根菌調査

活動予定日：5月、10月

引き続き、専用の熊手を使い林内に堆積した落ち葉などをかき集め、アカマツと共生するマツタケ菌（菌根菌）が生育しやすい環境にし、アカマツの元気を取り戻します。将来的にマツタケが採れる山にして、マツタケ生産を地域産業化し、山村地域の活性化を目指します。



堆積した落ち葉を取り除く柴かき作業

長野県佐久市大沢 薪の森づくりプロジェクト

施業面積：約3ha

活動内容：植林、下草刈り、伐採・地拵え

活動予定日：4月、7月、11月、12月

荒れたヒノキ、カラマツの人工林を整理して、コナラを植え、薪が採れる森をつくります。15年後くらいから薪を生産できるようになり、地域の方が薪ストーブの燃料として利用する予定です。自然エネルギーの地産地消を目指すプロジェクトです。



千葉県山武市蓮沼殿下海岸 3.11 復活の森プロジェクト IV

施業面積：約2.8ha+約1.4ha

活動内容：植林、下草刈り

活動予定日：1月～4月、7月、8月

4年目を迎える津波被害に遭った海岸林を復興させるプロジェクトです。2015年は、林帯幅を拡大するため新たなフィールドへ植林を行います。夏の時期は、今までの植栽地も含めて広大なエリアの下草刈りが必要となります。



東京都檜原村 ツリークライミング体験会

活動予定日：4月、5月、9月、11月

豊かな自然に恵まれている檜原村で今年も4回開催の予定です。山桜、新緑、盛夏、紅葉と四季の移り変わりを樹上から感じられたらと思っています。TCJ（Tree Climbing Japan）のファシリテーターの資格を有する東京チェーンソーズ代表・青木亮輔さんによるTCJ公式体験会です。また、体験会の後にプチ林業体験として地拵え、薪割りなどを行っています。



あなたのご支援が、森をつくる力になります。

森のライフスタイル研究所は、特定非営利活動法人＝NPO 法人格を持つ団体です。NPO 法人とは自発的に社会の課題解決に取り組みたい、または社会貢献がしたいと考える市民のための受け皿となる団体です。国や行政、企業などの営利団体ではカバーできない領域での活動を自発的に行っていきます。しかし、NPO 法人は無報酬（ボランティア）で活動を行う慈善団体ではありません。非営利とは、利益を出さないという意味ではなく、活動で得た収益を構成員で分配するのではなく社会貢献活動に充当していきます。そこが一般の法人との大きな違いです。したがって NPO 法人も一般企業と同様に活動を持続させて行くには資金調達が必要なのです。

森のライフスタイル研究所が、持続的に森づくり活動を行って行くには私たちの思想や行動に共感していただく企業、団体、個人の皆さまからのご支援が必要です。一人ひとりのご支援が、大きな力となり、私たちの活動の後押しをしてくれます。

2015 年より、従来のご支援の仕組みを一新し、よりわかりやすく多くの皆さまにご支援いただけるよう仕組みを一新いたしました。この機会に、森のライフスタイル研究所の実績やこれからの活動を今一度ご理解いただき、ご支援を賜らんとことをお願い申し上げます。

会員になる支援と寄付による支援。

支援の方法は大きく分けると「会員になる支援」と「寄付による支援」があります。

「会員になる支援」は、当団体の個人正会員となっただき会費をお支払いいただきます。正会員は年に一度開催させる森のライフスタイル研究所総会での議決権が与えられ、団体の活動方針の策定などにも深く関わっていただきます。なお、正会員は個人のみとし、法人や団体の会員は募集いたしません。

「寄付による支援」には、単発寄付による支援と継続寄付による支援があり、ご自身に合った方法でご支援いただけるよう配慮しております。

正会員になって森ライと一緒に森づくりを考える。

■個人正会員

個人正会員は、議決権を持った会員です。1 年にわたって財政的ご支援（会費）をいただくと同時に、団体の運営にもご助言をいただき、森づくり活動に参画していただきます。

会員期間は、1 年間（1 月 1 日から 12 月 31 日）です。1 月 1 日以降にご加入の場合は、年会費支払日からその年の 12 月 31 日までとなります。

●会費 24,000 円 / 年（一口）

お支払い方法は、銀行振込とクレジットカード決済をお選びいただけます。

※お一人様何口でもお申込みいただけますが、議決権はお一人様 1 票とさせていただきます。

●正会員特典

イベント参加無料招待券※×2 の送付

年間活動報告書（森ライ白書）の送付（年 1 回）

会員証、会員バッジの送付

※その年度のお好きな森づくりツアー（日帰りに限る）に 2 回無料で参加し活動内容をご体験いただけます。

うれしいことがあったら、森ライにも単発寄付でお裾分け。

■銀行振込で寄付

下記の銀行口座へお振り込みください。

三菱東京 UFJ 銀行 東京女子医大出張所（店番号 315）

口座番号 普通 0039223

口座名義 特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所
（トクヒ）モリノライフスタイルケンキュウジョ

ジャパンネット銀行 すずめ支店（店番号 002）

口座番号 普通 7813933

口座名義 特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所寄付金口
（トクヒ）モリノライフスタイルケンキュウジョキフキングチ

ゆうちょ銀行

記号 10130

口座番号 23030771

口座名義 特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所
（トクヒ）モリノライフスタイルケンキュウジョ

※他の銀行からゆうちょ銀行にお振込の場合、店番号は 018（ゼロイチハチ）、口座番号は 2303077 になります。

■クレジットカードで寄付

VISA、マスターカード、JCB、アメリカン・エクスプレス、ダイナースクラブの各クレジットカードからご寄付をいただくことができます。下記の森のライフスタイル研究所ホームページ、クレジットカード支援ページをご覧ください。専用の手続きページよりお申し込みください。

<http://moridukuri.or.jp/support/creditcard.html>

■募金サイトから寄付

下記の募金サイトより寄付をすることができます。詳しくは各募金ページをご覧ください。

Yahoo! ネット募金

<http://donation.yahoo.co.jp/detail/2807001/>

じぶん銀行

<http://www.jibunbank.co.jp/service/settlement/contribution/>

楽天銀行

<http://www.rakuten-bank.co.jp/company/contribution/>

住信 SBI ネット銀行

<https://www.netbk.co.jp/wpl/NBGate/i040112CT>

森のサポーターになって継続寄付で応援する。

森のサポーターは、年会費または月会費（個人のみ）のかたちで寄付を集め、ご支援いただくものです。

会費（＝寄付）のお支払方法は、年額を一括してお支払いいただく方法と、月額を月ごとにお支払いいただく方法をお選びいただけます。

また、森のサポーターには個人と法人・団体があり、会費（寄付額）が異なりますのでご注意ください。

会員期間は、どちらも 1 年間（1 月 1 日から 12 月 31 日）となります。

年会費でご支援の場合：会費（＝寄付）をお支払いいただいた日からその年の 12 月 31 日まで。

月会費でご支援の場合：会員期間は 12 月 31 日までで、月会費（＝寄付）は加入月からその年の 12 月まで、毎月〇日までにお支払いいただくことになります。

■森のサポーター（個人）になって寄付

●会費 年会費の場合 3,000 円 / 年（一口）

月会費の場合 500 円 / 月（一口）

お支払いは、クレジット決済と銀行振込を選べます。

お支払いは、クレジット決済のみです。

※月会費でのお支払いをお選びいただくと年間で 6,000 円（年額会費二口分）を支援していただくことになります。

●森のサポーター（個人）特典

年間活動報告書（森ライ白書）の送付（年 1 回）

会員証、会員バッジの送付

◎お一人様何口でもご加入いただけます。

■森のサポーター（法人・団体）になって寄付

●会費 10,000 円 / 年（一口）

お支払いは銀行振込のみで、書面でのお申し込みとなります。

※法人の場合 5 口（50,000 円）からの受付となります。団体の場合は 1 口（10,000 円）からです。

●森のサポーター（個人）特典

年間活動報告書（森ライ白書）の送付（年 1 回）

会員証、会員バッジの送付

詳しくは、森のライフスタイル研究所 03-6205-6206、または info@slow.gr.jp までお問い合わせください。

Special thanks to

森のライフスタイル研究所の森づくりにご協力いただいた皆さま。ありがとうございます。

一般社団法人 アース・ブレイクスルー
株式会社アーバンフォレストリー
アド・コマーシャル株式会社
伊那市観光株式会社
飯村 未穂
公益財団法人 イオン環境財団
磯野 亜希子
伊藤忠建材 株式会社
海の家ひらの
栄光キッズカレッジ
港区立エコプラザ
株式会社 LSI メディエンス
独立行政法人 環境再生保全機構
木島平観光株式会社
木島平村自然を愛する会
株式会社 キッツ
銀河鉄道株式会社
gooddo 株式会社
久米繊維工業 株式会社
グローリー株式会社
建設廃棄物協同組合青年部
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
公益社団法人 国土緑化推進機構
越尾 淑子
コスモ石油エコカード基金
こまくさ観光 株式会社
佐久市大沢財産区
三機工業株式会社
公益財団法人 JKA
シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社
NPO 法人 自転車活用推進研究会
じぶん銀行
清水 隆行
認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK
住信 SBI ネット銀行
NPO 法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ
NPO 法人 信州そまびとクラブ
信州大学農学部
株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ
森林インストラクター東京会
独立行政法人 森林総合研究所
スーパーストックトーキョー
鈴木 恵美子
積和建設関東株式会社
合同会社 セルフリー
ソフトバンクモバイル 株式会社
株式会社 大京アステージ 事務管理センター
高島 茂
立川マザーズ
企業組合千葉県森林整備協会
千葉県北部林業事務所
NPO 法人 ちば里山センター
千葉大学園芸学部
一般財団法人 千葉県環境財団
NPO 法人 鶴見川流域ネットワーク
NPO 法人 伝統肉協会
株式会社 東京チェーンソーズ
東京ひのほら地域協議会

東御市田之尻里山整備推進委員会
東部産業 株式会社
東京ガス環境活動おうえん基金
東洋バルウ 株式会社
道志村地域おこし協力隊
TOTO バスクリエイト株式会社
TOTO ハイリビング株式会社
TOTO 水環境基金
トヨタ自動車 株式会社 環境部
内藤 健志
長野県林務部
長野県北信地方事務所林務課
長野県上伊那地方事務所林務課
長野県佐久地方事務所林務課
長野県木島平村
長野県上小地方事務所林務課
長野県佐久市
長野県長和町
公益財団法人 日工組社会安全財団
公益社団法人 日本フィランソロピー協会
日本郵便 株式会社
パナルピナ・ワールド・トランスポート・ジャパン株式会社
株式会社 バリユーブックス
株式会社ピースフル
光が丘興産株式会社 東北営業所
檜原都民の森
日の出太陽の家
公益財団法人 日野自動車グリーンファンド
NPO 法人 響
FIT チャリティ・ラン事務局
風人庵
独立行政法人 福祉医療機構
富士山アウトドアミュージアム
株式会社 富士通マーケティング
プラス 株式会社
フロマエカフェ & ギャラリー
北陽建設 株式会社
保科 美生
前田建設工業 株式会社
マムートスポーツグループジャパン株式会社
瑞穂木材株式会社
三井物産株式会社 環境・社会貢献部
合同会社みつばち社
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
株式会社 三菱総合研究所 プロジェクトマネジメントセンター
一般財団法人 みんなの森財団
毎日メディアカフェ
NPO 法人 モバイル・コミュニケーション・ファンド
モルガン・スタンレー MUFG 証券
ヤフー株式会社
山下 味希恵
楽天銀行
NPO 法人 リトルワンズ
株式会社 レノバ
株式会社 レレレ
レンジャーズプロジェクト
和信化学工業株式会社
(あういえお順 敬称略)

あなたの本が、森になる。

Book for Forest

Book for Forest は、不要になった「本」を「森づくり」に役立てる画期的な取り組みです。個人や会社で不要になった本や CD、DVD を提携会社のバリユーブックスがお引き取りし、査定し、買い取ります。その買い取り額が森づくりのための資金として NPO 森のライフスタイル研究所に寄付される仕組みです。送料は、バリユーブックスが負担します。

- ①申込書（古書の譲渡承認書）をダウンロード。
- ②不要な本と申込書を段ボール箱等につめる。
- ③バリユーブックスに電話をして引き取り希望日時を伝える。
- ④宅配業者さんがご指定の日時に本を引き取ります。
- ⑤バリユーブックスが査定し、買い取り額を寄付。
- ⑥寄付されたお金が森づくり活動に使われます。

※ISBN コードのない本、個人出版の本、百科事典、コンビニコミック、マンガ雑誌、一般雑誌はお取り扱いできません。

◎詳しくはホームページ <http://www.slow.gr.jp/books/index.html> をご覧ください。



森のライフスタイル研究所

2015 年 5 月より下記に移転いたしました。

NPO 法人森のライフスタイル研究所
〒160-0022 新宿区新宿 1-23-16 第二得丸ビル 401 号
電話：03-6274-8982 FAX：03-6274-8983
<http://www.slow.gr.jp/>
【本部】長野 【オフィス】東京、栃木、京都